

青燈会  
小豆畑病院広報誌  
[せいとう]

ほんとうの医療をかんがえる

vol.3

# SEiTO



特集

## 大解剖！ライブリーライフ那珂

い みょう はく あい  
醫明博愛

## 君に託す 医学の伝統

医療により病める患者に光をあて「あかるくする」

医学の疑問に対し研究をかさね「あきらかにする」

医学を学ぶ者（医学生）に熱意ある教育により

その門を「あける」

## 日本大学医学部

大学院医学研究科 附属板橋病院 附属看護専門学校

NIHON UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1

03-3972-8123

<http://www.med.nihon-u.ac.jp/>

法学部 / 文学部 / 経済学部 / 商学部 / 芸術学部 / 国際関係学部 / 危機管理学部 /  
スポーツ科学部 / 理工学部 / 生産工学部 / 工学部 / 医学部 / 歯学部 / 松戸歯学部 /  
生物資源科学部 / 薬学部 / 通信教育部 / 短期大学部 / 大学院 / 高等学校 / 中学校 /  
小学校 / 幼稚園 / こども園

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学企画広報部企画課 Tel.03-5275-9284

日本大学

検索

<http://www.nihon-u.ac.jp>



# 日本大学

# 小豆畑病院の履歴書

Azuhata Chronicle

## 第3回 介護保険制度と介護施設の増設

小豆畑節夫 Azuhata Setsuo 介護老人保健施設ライブリーライフ那珂 施設長



地域の高齢者の新たな受け皿として設立された特別養護老人ホーム「ひばりヶ丘」。平成16年創設（撮影：総務課）

### 新たに社会福祉法人を設立

平成8年9月、医療法人社団青燈会は介護老人保健施設ライブリーライフ那珂を併設して医療と介護を提供する医療介護グループとして再出発した。

同じ頃、人生100年時代に突入した日本の医療環境は、増え続ける高齢者の医療費を現行の保険制度だけでまかない続けることが難しくなっていた。そこで国は、平成12年に介護保険制度を発令し老人医療にあてることにした。同時に、疾病の重症度に対応して高齢者の医療と介護に対応可能な病床の増設を各医療機関に要請した。当法人はこれに応じるかたちで、平成12年6月、一般病棟とは別の医療療養病棟を50床増設し高齢者の介護と療養サービスを提供することになった。

平成8年に設立した介護老人保健施設ライブリーライフ那珂だが、こちらは開設後数カ月で100床あるベッドがたちまち満床となった。そこで高齢者の新たな受け皿を用意すべく行なったのが、社会福祉法人の設立である。

新法人のもとに立ち上げたのが、特別養護老人ホーム「ひばりヶ丘」、さらに地域密着型サービス施設「憩の杜」である。那珂市の助

成のもと、この2施設を那珂市住民のためのグループホームと小規模多機能施設として開設したのである。なお、これら施設の建築、開設には当院事務方トップの深澤秀一事務長の並々ならぬ努力があったことを付記しておきたい。

ところで病院のほうは、小生の老齢化のため息子の丈夫が大学を辞し、小豆畑病院の病院長に就任してくれることになった。平成28年のことである。丈夫は大学で外科と救急医学を専攻し、当時救急医学教室の准教授の任にあった。

また、丈夫の着任に合わせて大学の若い救急科専門医2名も丈夫を慕って当院に着任してくれた。丹正勝久先生、富田涼一先生という大学教授経験者を招聘することも出来た。こうして新しい陣容を備えた小豆畑病院は、病院の充実、在宅医療の充実をますますはかれるようになったのである。さらに非常勤ではあるが、福島県立医科大学、埼玉医科大学の教授である柴田昌彦先生によって最新の化学療法を用いた、がんの外来治療も始めることが出来た。

そして、小生は平成31年に病院理事長の職を息子丈夫に引き渡した。現在は老健施設の管理者で施設医師として働いている現今である。

## 整形外科 廣瀬一郎医師、着任のお知らせ

青燈会小豆畑病院は2021年4月より整形外科に廣瀬一郎医師が着任いたします。廣瀬医師は栃木県宇都宮市出身。1982年3月東北大学医学部卒業後、同大学整形学科に入局。1989年東北大学医学博士、1990年米国テネシー州キャンベルクリニック留学、1991年東北労災病院整形外科副部長、1992年国立水戸病院整形外科医長を経て、2015年より務められている水戸医療センター統括診療部長を2021年3月末をもって定年退職される予定です。小豆畑病院へは2004年4月より非常勤医として勤務されていました。廣瀬医師の着任により今後ますます当院整形外科の飛躍が期待されます。



廣瀬医師を囲むリハビリテーションのスタッフたち（撮影：総務課）



廣瀬一郎 Hirose Ichiro

水戸医療センター統括診療部長・整形外科医長、東北大学整形外科臨床准教授。2021年4月より小豆畑病院整形外科に常勤医として着任予定

### 整形外科に関する問い合わせ先

小豆畑病院 医事課

TEL: 029-295-2611

FAX: 029-295-5022

email: hospital@seito1980.com

受付時間／月～土 8:30～17:30（日・祝日は休み）

## CONTENTS

### 8 **特集** **大解剖! ライブリーライフ那珂**

10 介護老人保健施設とはどのような施設なのですか?

12 ライブリーライフ那珂は「病院併設型施設」

14 データで知る ライブリーライフ那珂

16 密着! 施設入所者の一日

22 「低栄養リスクの改善を目指して」インタビュー 和田由佳 (管理栄養士)

25 これまでのライブリー、これからのライブリー

28 ライブリーライフ那珂のスタッフとその仕事

1 小豆畑病院の履歴書 第3回

6 青燈会ニュース

40 インフォメーション

4 青燈寸景

38 日大医学部通信

### ごあいさつ

#### 小豆畑丈夫 Azuhata Takeo

青燈会小豆畑病院 病院長

当法人の介護老人保健施設「ライブリーライフ那珂」が設立されたのは1996年9月のことです。2011年の東日本大震災では、天井が複数箇所で崩落するなど一時は施設の存続すら危ぶまれましたが、大規模な改修工事を経て無事に再出発を図ることができました。これもひとえに、地域のみなさま方のお力添えの賜物と感謝しております。

2019年、小豆畑病院の創設者である小豆畑節夫先生がライブリーライフ那珂の施設長に就任されました。これを機に小豆畑病院は私、介護老人保健施設は節夫先生という新体制となり両施設の関係はこれまで以上に濃密なものに深化しています。施設入所者を対象とした「ライブリーライフ那珂・入院ゼロプロジェクト」など、現在、両施設の連携はさらに強化されさまざまな改革が進められています。

今号の特集は、そんなライブリーライフ那珂の挑戦をあらゆる角度から「解剖」したものです。四半世紀に渡る着実な歩みを礎に、今後ますます成長を遂げていくであろう同施設の勇姿を、地域のみなさま方を初め多くの方々にごらんいただければと存じます。これからも関係者一同、誠心誠意施設の運営に携わってまいります。

青燈会小豆畑病院広報誌

「SEiTO」第3号

発行日 = 2021年3月1日

発行 = 医療法人社団青燈会小豆畑病院

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 605

編集制作 = 藤山編集制作事務所

写真 = 西山輝彦

イラスト = 鈴木真実

デザイン = 稲葉英樹

印刷 = 日本プロセス秀英堂

©Seitokai Azuhata Hospital 2021

本誌掲載の写真・記事の無断転載

および複写を禁じます



# 青燈寸景

[ 03 ]



## 青燈会小豆畑病院は2020年で創立40周年 次の世代に向けて新病院建設計画が着々と進行中

1980年4月1日に小豆畑胃腸科外科病院として開業した小豆畑病院は、2020年で創立40周年を迎えました。秋には大規模な記念式典が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により記念式典をはじめとするすべての周年行事は延期となっています。

一方、医療法人社団青燈会は2019年末、JR水郡線上菅谷駅前の土地を取得、新病院建設に向けた具体的な計画が動き始めています。現在、新病院建設計画に関する小委員会が不定期で開催されており、2021年には各部署の責任者が参加する横断的な検討委員会が活動を始める予定です。これについて小豆畑丈夫理事長は次のように述べ新病院建設計画に大きな期待を寄せています。「40周年の喜びを職員全員と分かち合えず残念でしたが新病院の建設計画は着々と進んでいます。2021年には建物の規模やデザインも概ね決定する予定です。すべての職員が働きやすい病院を職員の意見を踏まえながらつくり上げていきたいと思っています。正式な発表ができる日を楽しみにしていきましょう」。



新病院の建設予定地。「医師やスタッフたちに、ここで働きたいと思ってもらえるような病院にしたいですね」  
(小豆畑丈夫理事長)

## 新型コロナウイルス感染症に新たな医療体制を構築 小豆畑病院は「診療・検査医療機関」として対応

新型コロナウイルス、インフルエンザの流行に備えた医療提供体制として、茨城県は発熱患者の診療、検査に対応する「診療・検査医療機関」を県内629カ所に指定し2020年11月2日から運用を始めています。小豆畑病院は当該機関の一つとして診療・検査体制を整えると同時に、県が求める3つの条件——①かかりつけの患者以外も受け入れる、②院内で検査(検体採取)を実施できる、③医療機関名を公表できる、をすべて満たす機関として発熱患者の診療、検査に対応しています。

新型コロナウイルス感染症に関して小豆畑病院は、2020年6月より那珂医師会から委託されるかたちで「地域外来・検査センター」を敷地内に設置、PCR検査の検体採取などを行なってきました。同センターは引き続き稼働する一方、11月以降は小豆畑病院でも診療・検査医療機関として発熱患者の診療・検査を行う体制を整えています。今後も小豆畑病院は地域医療に貢献する医療機関として、新型コロナウイルス感染症への対応に積極的に取り組んでいきます。



青燈会の敷地内に設置された「地域外来・検査センター」の内部

# News

## 「訪問診療」の利用患者数が月100人を超える 地域医療の中核としてますます期待が高まる

小豆畑病院在宅医療グループの「訪問診療」の利用患者数が、2020年10月時点で月100人の大台に乗りました。これはサービス開始以来初めての記録となります。小豆畑病院の訪問診療は約10年前から那珂市内を中心に活動を開始、2018年に「在宅医療グループ」として体制を一新して以降は、近隣医療機関から退院患者の訪問診療を直接依頼されるなどその認知度が飛躍的に向上していました。また、近隣地域のケアマネジャーに当グループの訪問診療をご利用者に勧めていただくなど介護の分野でも高い評価を受けていました。

利用患者数の増加について担当の中村和裕医師は、「より当たり前の医療の選択肢として挙がるよう、身近でかつ高度な医療を提供し在宅生活が笑顔であふれるようさらに精進していきます」と述べ決意を新たにしています。今後は新型コロナウイルス感染症の影響で中止している「市民講座」を復活させるなど、市民と直接触れ合う機会を在宅医療グループ全体としても再び設けていく予定とのことです。



小豆畑病院在宅医療グループを牽引する、訪問診療担当の中村和裕医師(右)

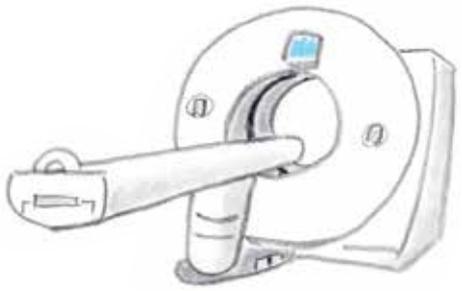
## 「訪問栄養指導」の訪問件数が着実な伸び 那珂市内唯一のサービス提供機関として注目が集まる

小豆畑病院在宅医療グループが提供する「訪問栄養指導」サービスの件数が堅調な伸びを見せています。訪問栄養指導とは生活習慣病や摂食・嚥下困難、低栄養の患者に自宅や施設で栄養に関する助言や介護食のつくり方などを指導するサービスです。サービス開始は2019年2月、2020年末時点ですでに月20件の訪問依頼を受けるまでに拡大しています。訪問栄養指導の実施機関は全国的に数が少なく、那珂市では当グループが唯一のサービス提供機関となります。

訪問栄養指導の躍進について担当の沼田佑香里さん(管理栄養士)は次のように述べています。「立ち上げ当初はすべてが手探り状態でしたが、訪問診療の中村和裕先生やケアマネジャーなど在宅部門のみなさんの働きかけにより現在は多方面からお声がけいただけるサービスに成長しました。栄養管理の大切さを理解していただいた患者さまやご家族の期待を裏切らないよう、今後も在宅での食生活がより豊かになるようなオーダーメイドの栄養相談を心がけていきます」。



管理栄養士の沼田佑香里さん。「多くの方々の助けを借りながらここまで来ることができました」



特集

# 大解剖！ ライブリーライフ那珂

1996年の創設からもうすぐ四半世紀。

地域医療の中核を担ってきた介護老人保健施設「ライブリーライフ那珂」は、時代とともにその役割を少しずつ変化させてきました。

いま、ご利用者の半数以上が85歳以上というライブリーライフ那珂は、どのような高齢者施設として運営されているのでしょうか。

その実態にさまざまな角度から迫っていきます。

そもそも

大解剖！ライブラリーライフ那珂1

ろ う け ん

## 介護老人保健施設とは

### どのような

### 施設なのですか？



### 高齢者の自立を支援する施設

介護老人保健施設、略して「老健（ろうけん）」は介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭（自宅や施設）への復帰を目指して、医師による医学的管理のもとさまざまなサービスを提供する施設です。

サービスの基本は多職種協働によるリハビリテーション・マネジメントです。体力や基本動作能力の獲得、生活機能の向上などを目的に維持期リハビリテーションを集中的に行っています。関係する職種は、リハビリテーションを行う理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のほか、医師や看護師、介護職、管理栄養士、ケアマネジャー、支援相談員などで、食事・入浴などの日常サービスとともに、ご利用者一人ひとりの状態や目標に合わせたサービスを各専門職が提供します。

施設の利用方法はさまざまです。老健に入所してリハビリを行い在宅復帰を目指す「入所サービス」、老健に通ってリハビリに励む「通所リハビリテーション（デイケア）」、短期間だけ老健に入所する「短期入所療養介護（ショートステイ）」、自宅や施設にスタッフが訪問する「訪問リハビリテーション」など、ご利用者の状態や意向に応じて最適な

利用法を選べます。その際は、ご利用者本人だけでなくご家族の介護負担軽減まで含めた総合的な支援に努めます。

### 在宅復帰後の支援も求められる

老健を利用できる方は、病状が安定して入院治療の必要がない要介護1～5の要件に当てはまる方です。老健と似ている施設に特別養護老人ホーム（特養）がありますが、特養は要介護3以上の方の「生活を支える」介護施設という位置づけです。老健はあくまでリハビリによって家庭への復帰を目指す施設で、そこに特養との大きな違いがあるといえるでしょう「表」。

2017年の改正介護保険法により、老健は従来の「在宅復帰施設」という位置づけに加え、「在宅支援施設」という定義が追加されました。在宅に復帰したら終わりではなく、復帰後のサポートまで含めた支援が求められるようになったのです。当法人は訪問診療、訪問リハビリなどを統括する「在宅医療グループ」が活発に活動しています。そうした組織との連携なども含め、老健は今後ますます地域医療の柱の一つとして重要な役割を担っていくものと思われま

**S**

施設	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム
青燈会の施設	ライブリーライフ那珂	ひばりヶ丘
役割・目的	在宅復帰・在宅生活支援、中間施設としての役割が求められる	中～重度の要介護者の生活を支える介護を中心とする施設
入所条件	要介護1～5の認定を受けていて、状態が安定している方	原則、要介護3以上の認定を受けている方
サービス内容	医学的管理にもとづく、看護、介護、リハビリテーション、栄養管理など	食事、入浴、排せつなどの日常生活支援 機能訓練(リハビリテーション) 健康管理
入所期間	原則、3カ月	終身利用可能
医師	入所者100人に対して1人以上(常勤)	入所者に対して健康管理および健康上の指導を行うための必要数(嘱託医)
介護職員 看護職員	介護職員、または看護職員の総数は利用者3人に対して常勤換算で1人以上 看護職員は看護・介護職員の7分の2程度	介護職員、および看護職員の総数は利用者3人に対して常勤換算で1人以上 看護職員数は1人以上
リハビリ職員	理学療法士、作業療法士、または言語聴覚士が利用者100人に対して1人以上	機能訓練指導員が1人以上
待機者	特別養護老人ホームに比べると待機者は少なく、比較的入りやすい	待機者が多く、入所まで数カ月以上かかることも多い
費用／月 要介護3 1割負担の場合	(ライブリーライフ那珂の場合) 多床室6.1～9.8万円 従来型個室12.5～19.8万円	(ひばりヶ丘の場合) 多床室5.1～10万円 ユニット型個室6.6～13.9万円

## デイサービスとデイケアの違い

デイサービスは別名「通所介護」と呼ばれます。一方のデイケアは「通所リハビリテーション」と呼ばれるサービスです。両者の違いはその名のとおりに、「リハビリテーションを受けるか、受けないか」にあります。日中ご利用者が施設内で過ごすのは同じですが、デイケアはその目的がリハビリです。リハビリの計画を立てるのは理学療法士、作業療法士といった専門職で、彼らは日常生活で必要になる福祉用具の提案なども行います。なお、ライブリーライフ那珂で提供しているのは「デイケア」のほうです。



これは  
うれしい

## ライブリーライフ那珂は「病院併設型施設」。 ご利用者が緊急のときは、 小豆畑病院の医師が迅速に対応いたします。

### 那珂市内には1施設だけ

現在、那珂市内には介護老人保健施設が2施設あります。そのうち、急性期病院が併設されている老健は「ライブリーライフ那珂」だけです。建物の廊下が1階と2階でつながっているので相互の往来は常にスムーズで、実質的に同じ建物内にあるといってもよいからい関係です。

### 病院併設型のメリット

急性期病院を併設している施設には、どのようなメリットがあるのでしょうか。いちばんメリットを実感するのはご利用者の容態に変化があったときでしょう。たとえば、ライブリーライフ那珂で過ごされている方の体調が芳し

くなく、医師に診てもらったほうがよいのではというとき、病院が併設されていると職員がすぐ診察にお連れできます。レントゲン、CTなどの検査も即座に対応可能です。診察の結果、「そのまま入院」ということになっても情報交換（申し送り）がスムーズにできます。入院後は治療の経過がリアルタイムで確認できるうえ、退院後、施設に再入所される際も各種調整を速やかに行うことができます。

### 深夜の呼び出しがありません

病院併設型のメリットが最も発揮されるのが「深夜の緊急時」です。ご利用者の容態が真夜中に急変した場合、病院を併設している施設なら救急車を手配する必要がありません。また、多く

の場合ご家族に來所してもらわなくてもありません。当直の職員が病院にお連れして必要な措置を終えた後、ご家族にはお電話による事後報告で済む場合も多々あります。すでに他の老健の利用経験があるご家族のなかには、深夜に何度か呼び出されたという経験をお持ちの方が少なくありません。そんな苦い経験から、入所相談の段階で「病院併設」という条件を重視されライブリーライフ那珂を選ばれる方もたくさんいらっしゃいます。

### 職員同士の連携も緊密

ちなみに、ライブリーライフ那珂と小豆畑病院の職員は、ふだんからライブリーライフ那珂内に設置してある職員食堂を利用しています。各部署の職

員は「同じ釜の飯」を通じて、ふだんから顔の見える存在として互いを認識している間柄です。また、青燈会にはライブリーライフ那珂に隣接して、「特別養護老人ホーム」と「小規模多機能サービス」を提供する施設もあります。敷地のすぐ隣には系列の歯科医院もあります。



2020年10月スタート！  
ライブリーライフ那珂  
入院ゼロ  
プロジェクト

病院併設型老健という特色を活かし、当施設が2020年10月より始めている取り組みが「ライブリーライフ那珂・入院ゼロプロジェクト」です。これは入所者の異常を早期に発見し、入院治療が必要になるほど病状を悪化させないことを目的とした、老健と病院が共同で始めた取り組みです。具体的には以下の2点を柱に入院ゼロに向けた環境を整備しています。①入所者に発熱や異常が認められたら小豆畑病院へすぐに移送して診察してもらう、②ベッドに「離床センサー」などを

取り付けてベッドからの転落による骨折を予防する。

当施設で入所者が入院に至る主な疾病は、「尿路感染症」「肺炎」「带状疱疹」の3つです(老健で対応できるもの)。高齢者は疾病を悪化させ入院すると筋力の低下や認知症の進行が早まり元の健康状態を取り戻すことが難しくなります。それだけに「入院予防」は大切な取り組みといえ、対応が遅れると命にかかわる場合もあります。

さらに、疾病別では以下の点に注意して入院ゼロを目指しています。

尿路感染症	こまめな水分補給。排尿量、性状をチェックして異常があれば検尿
肺炎	吸引と吸入。寝たきりの方は上半身ギャッジアップで起こす
带状疱疹	褥瘡や傷口などの観察、皮膚清潔の保持、皮膚の観察
転倒骨折	離床センサー、タッチセンサーの設置。向精神薬の減薬および見直し

なお、プロジェクトが始動して1カ月後、**2020年11月の入院者数はゼロ**でした。さっそくプロジェクトの成果が出始めておりスタッフ一同手応えを感じています。



ライブリーライフ那珂と小豆畑病院は建物同士がつながっているため、入所者に発熱が認められればすぐさまストレッチャーに乗せて病院のある建物へ移動します。病院併設型ならではの迅速な診療体制を存分に生かしています



離床センサーは床置きマットに体重がかかったときにコールが鳴る「マットセンサータイプ」(写真)のほか、ベッドの柵にセンサーパッドを巻きつけるタイプのもの(商品名:タッチコール)も使用しています

施設の全体像を分かりやすく

まとめました。

現在は施設入所者、

デイケア利用者ともに

85歳以上が

半数以上を占めています。



## 施設概要

2020年10月現在

設立	1996年9月
施設長	小豆畑節夫
建物概要	鉄骨造(3階建て)
部屋数と機能	多床室(4人)：22室、個室：13室、食堂、レクリエーションルーム、機能訓練室 浴室(一般浴・特殊浴)、デイケアルーム、談話室、診察室、サービスステーション 相談室、受付
提供サービス	短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護、通所リハビリテーション(デイケア) 介護予防通所リハビリテーション
サービス提供地域	那珂市、水戸市、常陸太田市、ひたちなか市、東海村(短期入所生活介護、通所リハビリテーション)

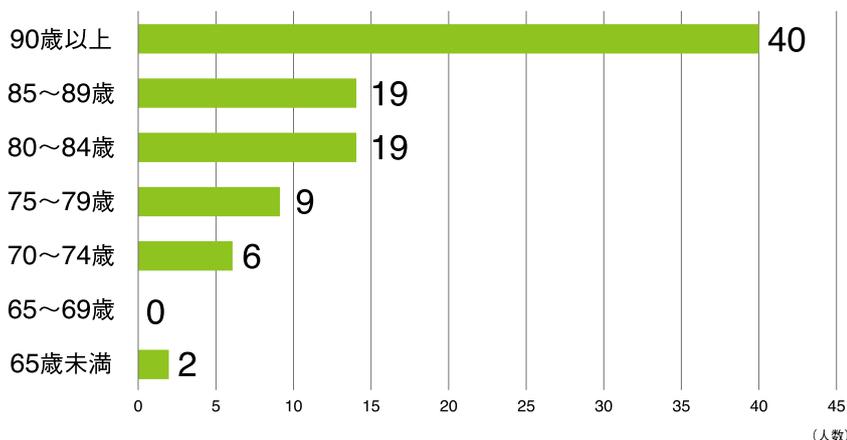
## 職員数と専門資格

2020年10月現在

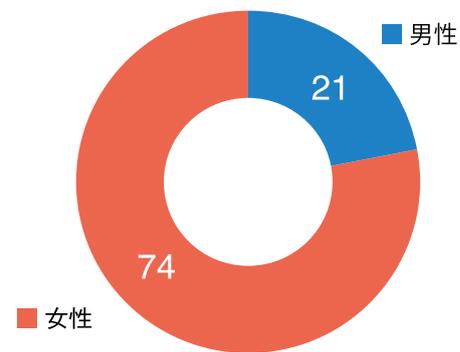
職員数	73名
資格者数	看護師(常勤1名、非常勤4名)、准看護師(常勤6名、非常勤1名)、介護職(常勤27名、非常勤5名)、 デイケア担当の介護職(常勤10名)、理学療法士(常勤2名、非常勤1名)、作業療法士(常勤2名)、 言語聴覚士(常勤1名)、管理栄養士(常勤1名)、ケアマネジャー(常勤1名)、薬剤師(非常勤1名)、 支援相談員(常勤3名)、事務員(常勤4名)、運転手(非常勤3名)、医師(常勤1名)

介護老人保健施設は病院を退院したものの自宅へ直接帰ることに不安を覚える方に対し、いったんリハビリを行なって身体の状態などを整えてから自宅生活に戻る「中間施設」としての機能も持ちます。支援する専門職は医療・福祉・介護の垣根を越える幅広さで、各々自分の職種だけでなく他の職種とも連携を図ります。各専門職がみずからの専門性を発揮し全体が一つのチームとして機能するようなケアサービスを提供します。

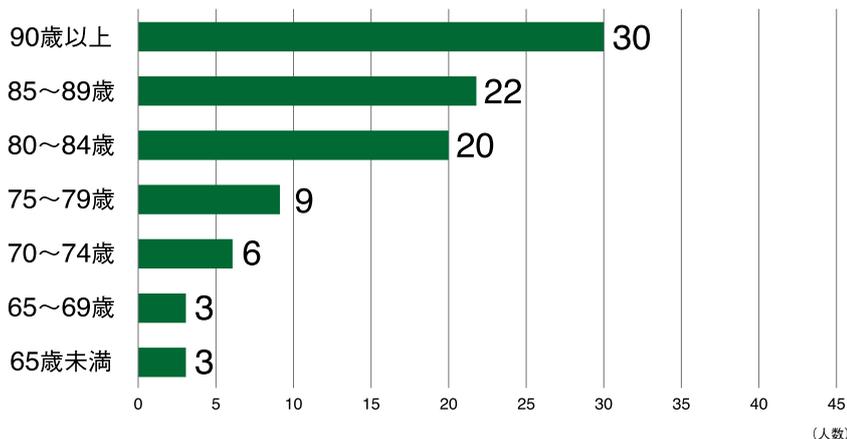
## 1 入所者の年齢構成



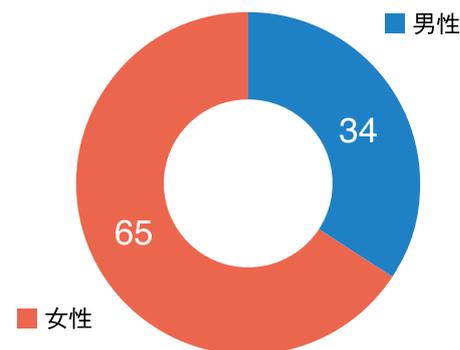
## 2 入所者の男女比



## 3 デイケア利用者の年齢構成

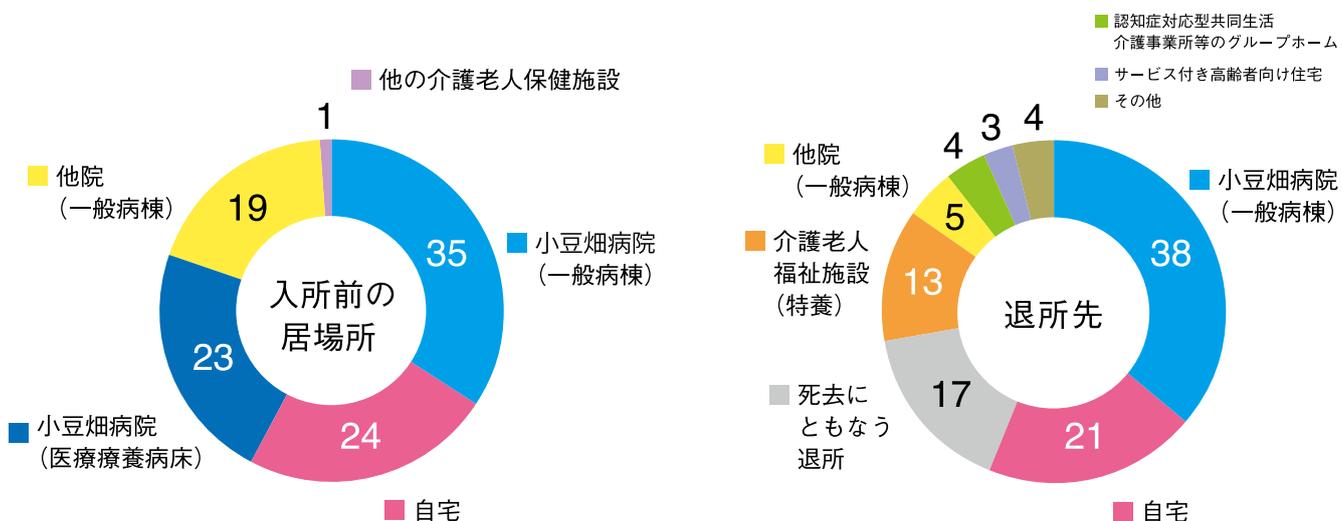


## 4 デイケア利用者の男女比



「ご利用者の平均年齢はここ10年くらい85～86歳でほぼ横ばいです。ただし、現在はすべての入所者が昭和生まれに変わりました。昭和生まれの方は身体が大きく骨格もしっかりされているので介助量が多くなり、介護職の負担が増えるという変化に直面しています」(黒澤由美子看護主任)

## 5 入所者と退所者の「居場所」(年度合計102名)





横山初代さん (85歳)

1935(昭和10)年4月26日生まれ。75歳頃から認知症の症状が出始める。5年前、大腿骨頸部骨折を機に認知症が進行、歩行がままならなくなったためデイケアサービスに通い始める。2019年11月より、実の娘である黒澤由美子看護主任の働くライブリーライフ那珂に入所。はじめての「老健ライフ」をアクティブに満喫中。

# 密着! 施設入所者の一日

ライブリーライフ那珂に入所されている方はどのような一日を過ごされているのでしょうか。所内でイベント(秋の味覚祭)が開催された11月12日に、入所者のおひとりである横山初代さんに密着させていただきました。

## 排泄介助 5:00

介助が必要な方は介護職スタッフが介助します。排泄介助は早朝のほか毎食後にも実施しています。

## 起床 6:00

36.0°C  
OK!

ビッ!

コロナの感染者が  
また増え始めたな...

## 午前の 検温 7:00



朝は自分で起きられる方もいれば、介護職のスタッフに起こしてもらう方もいます。顔を洗って身だしなみを整えると、朝食までのあいだは自由時間。新聞を読んだりテレビを見たり、みなさん思い思いに過ごされます。



牛乳が苦手な人は  
ヤクルトや  
ヨーグルトに変更

## 朝食 7:30

### 本日のメニュー

エビともやしのソテー  
和風和え  
ご飯、味噌汁、鯛味噌  
乳製品

食後に  
ヤクルトを  
ゴクリ

入所者は3カ所に分かれて食事をとります。初代さんは「自分で食事をとれる人」の部屋で。入所者の摂食・嚥下機能はそれぞれなので、同じメニューでも人によっては細かく刻んだ状態で提供されます。



栄養課より

食欲が低下しがちな朝でもおいしく食べていただけるように色合いや味つけを工夫しています。朝の牛乳はたんぱく質、脂質、カルシウム、ビタミンなど一日の活動に必要な大切な栄養補給です。

## 口腔ケア

8:00

歯を磨いたり、  
入れ歯を洗ったり。



11がつ  
12にち  
もくようび  
晴れー



② 日付、曜日、天気の確認

みんなでひとつずつ確認していきます。

# レクリエーション活動 9:15

体操や脳トレなど日によってさまざまな活動を行います。きょうは介護職スタッフの指示にしたがって楽しく体操を行う日です。

① 指折り体操

一気に広げたり1本ずつ折り曲げたり、指を活発に動かしていきます。



③ 歌に合わせて座ったまま体操



④ 食べられるもの、食べられないものゲーム

これから私が言うものが、「食べられるもの」のときはマル、「食べられないもの」のときはバツ、と手を使って答えてくださいね～

だんご

ラーメン

テレビ

じゃあ…  
吉沢さんは？

吉沢さん

バツ！

マル！

マル！

バツ！

吉沢さんは  
食べられませんよ～(笑)  
間違えた人  
いませんか～？

きょうの歌は「高原列車は行く」。NHKの連続テレビ小説「エール」の主人公のモデル・古関裕而が作曲した1954年リリースの名曲です。

⑤ 口の体操

パを5回言きましょう。  
「パ・パ・パ・パ・パ」(以下、タを5回、カを5回、ラを5回)  
早口言葉も言えますか～？  
「なまむぎ なまごめ なまたまご」

## ティータイム 10:00



体と頭を使ったあとは、コーヒーを飲んでほっと一息。コーヒーが苦手な方は緑茶です。



スタッフお手製の  
花笠を振って踊ります



# イベント 「秋の味覚祭」

10:20

きょうは11月のイベント「秋の味覚祭」の日です。  
みんなで歌って踊ります。昼食はいつもと趣向を変えて、お弁当箱に入ったスペシャルランチになります。



## 「秋の味覚祭」プログラム

- ① みんなで歌をうたいましょう  
「故郷」「紅葉」
- ② 介護職スタッフ、吉沢広幸さん  
弾き語りによる  
坂本九トリビュートライブ  
♪上を向いて歩こう  
♪見上げてごらん夜の星を
- ③ みんなで踊る「花笠音頭」



しあわせは  
雲の上に〜♪

よしざわさ〜ん  
がんばれ〜

## その頃、寝たきり状態の方は…



施設入所者のなかには寝たきりの方もいらっしゃいます。口から食事をとれない方は「水分注入」「経管栄養」が午前と午後で3回に分けて行われます。

### 水分注入、経管栄養

基本的にはベッドに寝たままの状態で行います(左)。ただし、沈下性肺炎や褥瘡の予防を兼ねて3回のうち1回はナースステーション内に移動して座った状態で行います(右)

きょうはイベントの日でごちそうがたくさん出るので、  
食事前の口腔体操はいつもより入念に行いました。

## 口腔体操 11:00



ほっぺの  
マッサージを5回

耳の下をマッサージ。  
唾液が出てきたら  
「ゴクリ！」

あっかんべ〜をして  
戻すを3回

べろを右に、左に、  
鼻の上に、下に

あっぷっぶーで  
ほっぺをふくらませ  
ましょう

## 昼食 11:00

イベントがある日の昼食はスペシャルメニューです。

### 本日のメニュー

栗ご飯  
サンマの塩焼き  
煮しめ  
小松菜の煮浸し  
ゆず和え

さて  
どんな  
お味かな？



### 栄養課より

秋の味覚をふんだんに採り入れた  
和風メニューを考えました。季節  
の旬の食材を使って日本の四季を  
舌で感じていただきます。

## 口腔ケア

12:00



## 入浴 13:30

## 午後のフリータイム (お昼寝)

初代さんはちょっとお昼寝。花笠音頭で疲れた体を休めます。

めでた  
めでたの〜





## おやつタイム

15:00

お昼寝のあとはおやつタイム。  
きょうのおやつは「アマビエの  
練りきり」でした。



## 午後のフリータイム 言語聴覚士と「音読」

各々自由に過ごす時間ですが、日によっては言語聴覚士と音読の練習をすることもあります。



初代さん作 ねずみのちぎり絵



### 言語聴覚士(ST)がいる介護老人保健施設の強み

言語聴覚士とはコミュニケーションや飲み込みに障害がある方をサポートする専門職です。現在、ライブリーライフ那珂と小豆畑病院には合わせて8名の言語聴覚士が在籍しています。言語聴覚士がいる介護老人保健施設は全国的に珍しいのですが、ライブリーライフ那珂は言語聴覚士がいることで次のような利点があります。

#### リハビリ内容の継続

病院を退院し、そのままライブリーライフ那珂に入所される方は、病院でのリハビリ内容をそのままライブリーでも引き継ぐことができます。

#### 食事内容の調整

施設利用の初日に飲み込みなどに関する簡単な評価を行います。その評価にもとづき食事の形態やとろみの調整を行います。また、口腔ケアの方法を考え誤嚥性肺炎にかからずに食事を続けていけるような工夫を施していきます。

#### コミュニケーションの支援

失語症や高次脳機能障害、構音障害などでコミュニケーションが難しい方へのリハビリを実施しています。また、「認知症短期集中リハビリ」の実施により、日常生活をより送りやすくする支援を行なっています。



## 午後の検温 18:00

ピッ!



夕食までのひとときはテレビで大相撲を観戦しました。

## 夕食 17:30



### 本日のメニュー

鶏肉のピカタ  
 ジャーマンポテト  
 大根サラダ  
 ご飯 味噌汁



（ 昼食とは打って変わって洋食です。一日の献立が単調にならないように、和洋中その他のメニューを織り交ぜながら味付けに配慮しています。 ）

栄養課より

## 消灯・就寝

20:00

またあした



夕食後に少しのんびりしたら就寝です。初代さん、一日おつきあいいただきありがとうございます。ありがとうございました。



### ライブリーライフ那珂に入所するまでの「よくある」4パターン

介護老人保健施設の利用方法は人によってさまざまです。同じ「入所」でもご利用者によってそのパターンは異なります。ライブリーライフ那珂では以下の4パターンが近年の主な傾向です。

#### 小豆畑病院を退院して入所

退院後リハビリに励んで在宅復帰を目指す方、病院での治療は終わったものの医療依存度が高く自宅へは戻れない方、特別養護老人ホームへの入所が順番待ちで、いったん老健に入所される方など、さまざまなパターンがあります。

#### 3カ月入所+ショートステイの繰り返し

老健の短期集中リハビリは制度上、入所は3カ月間と規定されています(リセットするには自宅などで3カ月過ごす必要がある)。そのため、自宅などで過ごされる間にショートステイやデイケアを利用されるパターンです。

#### 夏と冬に3カ月ずつ入所

在宅生活がメインであるものの、熱中症や感染症が気になる時期だけ施設で過ごされるパターンです。寒くなると動きがにぶり筋力が低下するため、あえて施設に入ってリハビリに励む方もいらっしゃいます。

#### デイケア→ショートステイ→入所と段階的に

デイケアやショートステイを利用しながら、なんとか在宅生活を送ってこられた方が、介護支援をされてきた家族のご都合などにより入所されるパターンです。

## 低栄養リスクの改善を目指して

栄養サポートチーム  
(NST)の取り組み

インタビュー

和田由佳（管理栄養士）

ライブリーライフ那珂は

介護老人保健施設にしては珍しく、  
専属の「栄養サポートチーム」を  
有しています。

施設利用者の適切な栄養管理のため  
チームはどのような活動を  
されているのか。  
メンバーの一員である

和田由佳さん（管理栄養士）に  
うかがいました。



### NSTの役割

— 栄養サポートチームとはどのようなものなのでしょうか？

和田 栄養サポートチーム(NST / Nutrition Support Team)とは施設利用者への適切な栄養管理を行う多職種からなるチームのことです。

人は低栄養(栄養状態が悪いこと)になると筋力が落ちADL(Activities of Daily Living = 日常生活動作)が低下します。また、免疫力も落ちるため病気や傷が悪化して合併症を引き起こすリスクが高くなります。そんな低栄養状態を未然に防ぐため、一人ひとりに適切な栄養管理を考えるのが栄養サポートチームの役割です。各専門職が有する知識と技術を出し合って、ご利用者の栄養支援を最良の方法で行なっていきます。

— チームに参加する専門職は、どのような方たちでしょうか？

和田 NSTの構成メンバーは、医師、看護師、介護福祉士、介護支援専門員、言語聴覚士、理学療法士、管理栄養士の7職種です。月に1度、チームで集まりカンファレンスを実施しています。

— 活動はいつ頃からですか？

和田 私たちは2019年4月から活動を始めています。隣接する小豆畑病

院ではすでにNSTが稼働していたため、ライブリーでの活動にあたっては事前に小豆畑病院でたくさんの勉強をさせていただきました。小豆畑病院NSTの見学をしたり、所属する栄養士にNSTの実施方法を教えていただいたり……。青燈会の管理栄養士（小豆畑病院の栄養士2名、訪問診療の栄養士1名、ライブリーライブ那珂の栄養士1名）は栄養課の名のもとに全員が同じ部屋を使用しています。常に顔を合わせている環境のおかげで、情報共有はスムーズに運んだと思います。

## デイケアの 昼食は10種類

——活動のきつかけは？

**和田** 小豆畑病院は2018年に救急告示病院に指定されました。それ以降、ライブリーライブ那珂には医療・介護の依存度が高く摂食嚥下障害や低栄養状態の方の入所が増加傾向にあります。そういう方々に対応するために、当施設でもNSTが必要ではないかという意見がありました。他方、小豆畑病院では低栄養状態改善のため、長年にわたりNSTの活動を行なってきました。その中心は前理事長でTNT（日



本臨床栄養代謝学会認定資格)の有資格者でもある小豆畑節夫先生でした。その節夫先生が昨年当施設の施設長に就任されたんです。それをきっかけにNSTを立ち上げようという機運が一気に高まり立ち上げに至りました。

——介護老人保健施設内に栄養サポートチームがあるのは珍しいのではないのでしょうか。

**和田** NSTは診療報酬の加算対象となる取り組みなので、病院にはたいいてい設置されています。しかし、介護老人保健施設は介護保険の枠組みとなるため加算対象とはならず、あえてNSTを設けている施設は少ないと思います。ただ、そうはいつでもご利用者の栄養管理はとても大切な事柄です。私たちは診療報酬の有無にかかわらずやるべきだと判断して取り組みことにしました。

——NST以外で、ライブリーライブ那珂ならではの特徴があれば教えてください。

**和田** デイケアの方の食事は、全10種類のなかからメニューを選択する方式を採っています。そのうち1種類は日替わりメニューで毎日内容が変わります。ご利用者にはその日の気分が好きな物を選んでいただけるようにしてい

ます。また、施設入所者で疾病のある方には、疾病治療を目的とした療養食の提供を行なっています。医師の指示にもとづきさまざまな種類の療養食（糖尿食、心臓食、腎臓食、潰瘍食、脂質異常症食、胆石食、肝臓食、低残渣食、臍臓食、貧血食など）の対応を行なっています。摂食・嚥下機能の低下が見られる方には、個々の機能に合わせた食事の形態（きざみ、超きざみ、ペースト、ソフト、ゼリーなど）の対応をしています。一人ひとりに対応した療養食や嚥下調整食の提供を行うことで、安全で美味しく楽しみながら召し上がっていただける食事になるよう努めています。

### 体力の向上は 栄養状態の改善から

——NSTの一員として、これまで思い出に残るエピソードがあれば教えてください。

**和田** 管理栄養士は栄養ケアマネジメントにあたって低栄養のリスク分けをします。その際参照するのが、体重の減少率、BMI (Body Mass Index = 体格指数)、血液内のアルブミン、食事の喫食率、褥瘡の有無などです。NST



の活動を始めてまだ1年ちょっとですが、これらの数値が改善してすでに栄養リスクが「低」になったご利用者がたくさん増えていきます。なかでも、入所以来ずっとリクライニングで離床されていた方が、車椅子で離床できるようになったのを見たときはとても喜びを感じました。もちろん、リハビリのポジショニング調整や介護職が離床を促したこともあるのですが、栄養状態が回復して体力が向上したことが車椅子での離床につながったことも大きかったのだらうと思います。同時にADLの改善も見られるようになりました。私にとってNSTの効果を実感でき、これからも続けていける勇気をもたらした一コマでした。まだ始まったばかりの取り組みですが、これからもそうした事例をたくさんつくっていただくと期待しています。



**和田由佳** Wada Yuka

管理栄養士。2016年、常磐大学人間科学部健康栄養学科卒業。同年、管理栄養士免許取得。他の老健で主に給食管理の経験を経て、2017年6月介護老人保健施設ライブリーライフ那珂に入職し現在に至る。

# これまでのライブリー これからのライブリー

文 = 柏 智也 (ライブリーライフ那珂 介護支援専門員)



## 当初は老人会の延長のような「くつろぎスペース」だった

ライブリーライフ那珂は、1996年に病院併設型の介護老人保健施設として創設されました。当時はまだ介護保険制度が始まる前で、ご利用者の属性は現在とはかなり異なるものでした。医療依存度の高い方はほとんどおらず、大半は自立されている方でした。茨城県外から来られる方も多く、地域の中の老人施設という雰囲気ではなかったように思います。

短期入所(ショートステイ)を利用される方は稀でした。通所リハビリ(デイケア)も少なく、大半は那珂市内の地区の常会(町内会)の開催場所として曜日ごとに分散利用されていました。介護を要する高齢者が利用するのではなく、老人会(マッサージ付き)の集まりの延長として時間を持て余した高齢者が利用していたのです。当時は「くつろぎ用」に畳を敷いた部屋が用意されていたくらいです。

1990年代後半といえば、全国的にも老健は少なく、老健が何をする施設なのか一般の方にはほとんど理解されていませんでした。それは職員の専門性にも表れていました。施設には介護福祉士が2〜3名、理学療法士が1

名いるだけで、あとはマッサージ師が3〜4名、残りはホームヘルパー(介護訪問員)の資格を持つ職員だけという体制でした。

## 在宅復帰施設としての役割と理想と現実の乖離

そのような状況が変わり始めるのは、介護保険制度がスタートした2000年以降です。これにより老健は介護保険が適用される、「リハビリをする介護施設」と位置づけられます。医師や看護師をはじめ、介護、リハビリといった多職種協働で高齢者の自立を支援していくのです。その目的は在宅への「復帰」支援でした。特に当法人は、高齢者の「生活施設」となる特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設)「ひばりヶ丘」を2004年に創設したこともあり、特養と老健の役割の違いは明確に色分けする必要がありました。

ただ、現場の感覚からいえば、老健が在宅復帰施設としての役割をまっとうするのは当初から容易でなく、その難しさは年を追うごとに深まっていったように思います。それは当施設だけでなく全国的な課題といえました(地域差はありましたが)。

在宅復帰が難しいのは、主に自宅に

介護ができる親族がいない、在宅復帰を家族が望んでいないなど受け入れ側の都合です。とはいえ、在宅へ復帰される方は必ずしもゼロではありません。入所当初から在宅復帰を目指して根気よくリハビリを繰り返して、想像以上に回復され在宅復帰される方は毎年何名かいらっしゃいます。また、在宅復帰はご本人の努力だけで実るものではありません。なかにはリハビリによる回復とは別に、ご家族(ご利用者のお子さんなど)が会社を定年退職され、ご自宅で面倒を見られる環境が整ったため復帰されるというケースもあります。

他方、在宅で安定的な生活を継続していくには、ご利用者を担当するケアマネジャーにそれなりの力量が求められるという現実もあります。ご家族の介護負担は、ケアマネジャーの差配次第で増えたり減ったりします。ご家族も含め、在宅での生活が不安定になれば、せっかく在宅復帰できてもまた施設に逆戻りという事態に陥りかねません。老健が多職種協働による支援といわれる背景には、そのような在宅復帰後のサポートも大いに関係しているといえます。

なお、在宅復帰を巡っては入所者の感情的なものが復帰を妨げるケースが昔からよくあります。すでに在宅復

帰できるまで身体は回復しているのに、諸々の事情から自宅に戻りたくない(戻れない)方が、「あの人が先に入所していたのに、どうして私の方が先に戻らなくて(出なくて)はならないの?」と苦言を呈されることがあります。施設としては「在宅復帰」が役割なのですが、ご利用者には必ずしもそのように受け取られていない面もあるのです。

## 入所者の介護度がアップ

ライブリーライフ那珂は、2020年で創設24年になります。その間の変化を振り返ってみると、主に以下のうな事柄がありました【図】。

### ① 入所者の体格や健康状態

当初は明治・大正生まれの入所者も多かったのですが、現在はすべて昭和生まれの方になりました。明治・大正の方はみなさん体格は小さかったです。が、体は比較的丈夫で服薬の量も少ないのが特徴でした。対して昭和の方は、たくさん疾患をお持ちの方が多く、薬の種類や量も多くがちな印象です。明治・大正の方に比べると体格が大きいので、そのぶん介護スタッフの肉体的な負担は増えているように思います。

### ② 介護度は上昇

平成20(2008)年頃の平均介護度は3.1〜3.2でした。ところが平成30(2018)年になると3.4〜3.5に跳ね上がります。主な要因としては、介護療養病床が制度上2017年度末で廃止され、施設を介護療養型から医療療養型に転換したことが、胃ろうを造設する方が増えたことが考えられます。介護度の上昇とともない、寝たきりの方も増えています。

### ③ 男性職員の増加

施設で働く職員に関しては、男性職員の増加が顕著です。先に、昭和生まれの方は体格が大きくなっていると申しましたが、体力的に勝る男性スタッフの増加は現場ではとても助かっています。ただ、新卒採用の職員は男女問わずここ数年はゼロが続いています。医療・介護の現場は労働環境が悪いというイメージを持たれているからなのかもしれません。とはいえ、離職率のほうは減少傾向です。実際に働いてみると、さほど悪い職場という印象は持たれていないのではないのでしょうか。また小さな子どもがいる女性スタッフは、敷地内にある託児所(ちびのミイ)に子供を預けられるので、それも離職率の低下に貢献しているようです。

### ④ 設備は震災を機に一新

創設当初は2階に大浴場があり、ご利用者は温泉気分です。風呂浴びて帰るといふ時期もありました。しかし、ご利用者の医療依存度が高まるにつれそうした設備はミスマッチとなり、現在は寝たまま、座ったままでも入浴できる「機械浴」の充実が求められるようになっていきます。また、2011年の東日本大震災で建物の多くが被災したことを機に、震災後は発電機や蓄電池を購入するなど災害時の対応にも力を入れるようになりました。

## 看取りへの対応が始まる

老化による身体機能の低下により、「入院はしないが在宅での介護は困難」という入所者が増えてきたのは2014年頃からです。高齢者は積極的な治療を行えば行うほど身体への負担が大きくなります。そこで浮上してきたのが、終末期をどこでどのように過ごすか、施設内で最期を迎えることは可能かという問題でした。

そのような問題意識から、当施設に「終末期ケア準備委員会」が発足したのは2014年8月のことでした。委員会は、施設内での看取りの指針を定めたり、マニュアルや書式などを作成したりと積極的に活動しました。同時に、

すべての職員が参加する終末期・看取りに関する勉強会なども実施、施設をあげて看取りへの対応を本格化させていきました。

翌2015年にはご本人やご家族の意向をもとに支援計画を立案、多職種でカンファレンスを行う看取り支援をスタートさせます。2017年からはターミナルケア加算も始まりました。2017年以降の看取り件数は表のとおりで、現在までに30名の方を施設内でお看取りさせていただきました。

2019年には看取りに関する小冊子『施設で最期まで暮らすということ』を作成しました。今後も、ご本人やご家族の意向を丁寧に確認しながら書類を作成したりカンファレンスを実施したりして、当施設で最期を迎えられてよかったですと思っていただけるような体制づくりを進めていくつもりです。

## 人生100年時代を見据え デイケアの多様化を模索中

日本の高齢化率は2050年には37.8%まで伸びると予測されています。数にして3764万人。日本人の3人に1人は65歳以上になる計算です(国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資

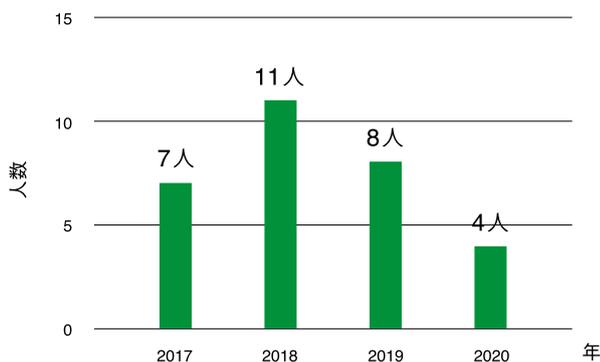
## 1 | 「基本型」から「加算型」の施設へ (介護老人保健施設の5区分)



↑ 上に行くほど高い基準を  
満たす必要がある

平成30(2018)年の介護報酬改定により、介護老人保健施設の分類は在宅復帰・在宅療養支援機能に対する評価により図の5分類に変更されました(以前は、在宅強化型、加算型、従来型の3分類)。ライブリーライフ那珂は当初「基本型」でスタートしましたが、在宅復帰・在宅療養支援への積極的な取り組みにより指標および算定要件を満たし、平成31(2019)年4月以降は『加算型』になりました。

## 2 | 施設内での看取りの件数



老健での看取りは「在宅支援」の一つと位置づけられます。ご本人、ご家族の意向を尊重して、医師、看護師をはじめ多職種が緊密に連携しながら安らかな最期を迎えられる体制を整えています。

当施設のデイケアサービスも、すでにご利用者から「もっと個人のニーズに合わせたメニューを提供していただけないだろうか」という声が出始めています。たとえば、スポーツクラブのように自分の体に必要なメニューを個別に組み立て、その日の体調や気分に合わせてリハビリの順番や内容を自分で決められるようなデイケアです。もちろん、ご利用者の年齢、性別、お住まいの地域などによってもニーズは変わるので、そうしたさまざまな要望を把握し、ご利用者にもっと導入して使いやすい、使いやすいデイケアを目指す必要があると考え、す

料2011年版)より)。そんななか、これまで以上に重要な役割を求められるのが、各地域の老健ではないかと私は思っています。

近い将来、企業の定年は延長され、80〜90歳まで元気でいるのは当たり前、ことによると死の直前まで元気でいられる方がますます増える時代になるでしょう。それにともない、健康を維持するためのリハビリにもさまざまなニーズが求められるはず。このとき、多様なリハビリを提供できる老健、特にデイケアサービスは地域社会になくてはならない存在になると予想されます。

でにその準備に取り掛かっていると  
ころです。

### ハードの改善と人材の育成

2017年の改正介護保険法により、老健は従来の「在宅復帰施設」だけでなく、「在宅支援施設」としての役割も期待されるようになりました。在宅生活を支援するためには、これまでのデイケアだけでなく、訪問リハビリや訪問介護との連携も必要になります。また、地域の他の事業所との連携もますます求められてくるでしょう。そのためには施設のハード面の更新、人材の育成と安定化も急務と考えています。

ハードについては昨年リニューアルしたエレベーターに続き、居室のトイレ、ベッド、収納棚を順次新しくしていく予定です。介護職の人材については、高齢化が進むスタッフの若返りをはかるとともに質の高い外国人人材の雇用も視野に入れています。

「人生100年時代」を安心して暮らせる地域の施設として、今後も当施設は病院併設型老健としての特色を存分に生かしながら、スタッフ一同、質の高いサービスの提供および満足感の得られる施設を目指していきます。



大解剖！ライブリーライフ那珂7

# ライブリー ライフ那珂の スタッフと その仕事

新型コロナウイルス感染症対策として  
スタッフは常時マスクを着用していますが、  
写真撮影時は特別に外しています。

田口日登美  
Taguchi Hiromi / Care manager

## 励まされたのは私のほうでした

「ハビリをがんばって早く自宅に帰りたい」。そう言うって入所された女性の方がいらつしゃいました。ところが、入所中に持病のガンが悪化し治療は困難な状態と診断されます。医師とご家族が話し合った結果、当施設で看取ることになりました。ご本人には未告知のままです。食事が摂れず痛む時間も増えてくるなか、ある日その方からこんな要望がありました。「一度自宅に帰り、夫の仏壇にお線香をあげて自宅の水でお茶を飲みたい」。もしかすると、自らの病状に気づかれていたのかもしれない。ご家族に相談すると「ぜひお願いします」と言われ、私も含め多職種連携のもと外出計画を立てることにしました。当日はとても天気の良い日でした。車椅子による移動は体力的に辛かったかと思えます。それでも自宅に到着すると穏やかな表情になられ、無事お線香をあげお茶を飲み楽しく昔話をし、帰ってきました。不思議なこ

とにその間は痛みも緩和されていたようです。その数日後、その方はご家族に看取られながら旅立たれました。「この施設でお世話になれて本当によかったです」。そうご家族にお礼を言われたとき、「むしろ励まされたのは私のほうでした」という思いになりました。ケアマネジャー冥利に尽きる瞬間でした。

## ケアマネジャー Care manager (介護支援専門員)

介護老人保健施設に所属する「施設ケアマネジャー」は、入居者一人ひとりの「その人らしさ」に焦点を当てた施設サービス計画(ケアプラン)の作成を行います。ご本人・ご家族の意向を取り入れながら、介護・看護・機能訓練・口腔機能改善・栄養などの個別援助計画を組み立てます。ご自宅への復帰が難しい場合は、適切な施設のご案内などもしています。





山崎正江  
Yamazaki Masae /  
Certified care worker

あたり前のことにも、「ありがとう」

## 介護福祉士 Certified care worker

福祉の専門知識と技術にもとづき、心身の障害によって日常生活が困難になった方に対し、食事、排泄、入浴など身の回りの介護を行う専門職です。介護士のなかで唯一の国家資格。介護職員初任者研修を修了すると、施設利用者の体に触れて直接介護を行うことができます。

**私**のサポートによりご利用者に満足そうな表情や笑顔が見られたときは、この仕事をやっていてよかったなと素直に思います。こちらはあたり前のことをしているつもりなのに、「ありがとう」とやさしく声をかけられたときもそうですね。施設内の行事で一緒に料理をしたとき、「数年ぶりに包丁を持ったわ」とうれしそうな笑顔を見せてくれた方は、いまでもよく覚えています。

# 施

設入所者の方々はみな  
さんご高齢でそれぞれ  
にバックグラウンドも異なりま

す。また、循環器系疾患、脳疾患、  
内分泌系疾患といった複数の疾  
患をお持ちの方が数多くいらっ  
しゃいます。介護の現場で働く  
看護師としては、それらを十分  
踏まえたうえで教科書どおりの  
対応に終始せず目の前の入所者  
一人ひとりの状態に合わせた看  
護ができればと思っています。  
「どんなときも笑顔を忘れずい  
ること」。ふだんから強く心がけて  
いる私のモットーです。

## 看護師 Nurse

それぞれ疾患(基礎疾患)をお持ちの施設入所者に対し内服薬を管理することが、介護老人保健施設に所属する看護師の業務の一つです。入所者の異常を早期に発見することも看護師の役割といえます。ご利用者が一日でも早く自宅に帰れるように、多職種と連携しながら総合的なサポートをしています。

## どんなときも笑顔を忘れずに

黒澤由美子

Kurosawa Yumiko / Nurse



佐藤 康 嵩  
Sato Yasutaka / Physical therapist



## 「できるようになったよ」と喜びの声

### 理学療法士 Physical therapist

医師の指示にもとづきご利用者に適切なリハビリテーションを実施します。起き上がりや立ち上がりなど、日常生活を送るうえで必要になる基本動作の反復練習が主な内容です。障害や後遺症のある部位に注目して、運動療法、物理療法といった手法を駆使し基本的動作能力の回復をお手伝いしていきます。

**長** 期間入所されていた方が元気になって自宅へ戻られ、今度はデイケア利用者として施設に通われることがあります。ある日、私と一緒にリハビリをがんばった方が当施設に生き生きと通ってこられる姿に出くわしました。そのときはとてもうれしかったですね。ご利用者から、「佐藤さんのおかげで〇〇ができるようになったよ」と喜びの声を聞かせていただくと、理学療法士になって本当によかったなと思います。

## 作業療法士 Occupational therapist

精神・身体機能の低下している方や身体に障害がある方に対し、日常生活に関わるセルフケアや家事、対人交流などの作業が円滑にできるように支援していく専門職です。応用動作の練習や評価、道具の調整なども行います。認知面の低下や精神機能の低下が見られる方には、精神面の安定が図られるように関わり、安心して生活できるよう支援していきます。

**私** のいとこは、生まれつき手足の麻痺と注意力低下などの高次脳機能障害があります。生活上の工夫が必要です。たり、誰かの手伝いが必要であったり……そんな姿を子供の頃から間近で見てきました。でも、いとこはいつも笑顔でした。私も誰かの笑顔を支えられる人になれたらいいなと思い作業療法士の道に進みました。障害をお持ちの方が日々のリハビリにより一人で行えることが増えると、私も同じようにうれしいですし、この仕事にやりがいを感じます。

## 誰かの笑顔を支えられる人に

小野瀬佳奈

Onose Kana / Occupational therapist



# 鈴木みち子

Suzuki Michiko /  
Speech-Language-Hearing  
therapist



大好物を食べられるようにしてあげたい

## 誤

嚥性肺炎後で食欲がなくなつた方がいらっしゃいました。本来はゼリーの摂取から始めるところですが、その方はゼリー類がお嫌いだったため経口摂取が進みませんでした。そこで、大好きな刺身のたたきを細心の注意を払いながらご提供したところ、「おいしい、おいしい」と言つて食べてくださり、結果的に3食経口摂取できるまでになりました。日本酒が大好きな方に飲酒のサポートをしたこともありました。ご本人とご家族が喜ばれているところを見るとこちらも胸が熱くなってきます。

## 言語聴覚士 Speech-Language-Hearing therapist

脳卒中後の言語障害や、声や発音の障害などコミュニケーションに障害をお持ちの方、また飲み込みに障害をお持ちの方をサポートする専門職です。必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行います。リハビリはもちろん、コミュニケーションやお食事を「楽しみながら行なってもらえるよう」、一人ひとりと向き合っていくことも大切な役割です。

## 支援相談員 Social worker

介護老人保健施設における相談援助業務全般を担います。必須の資格はありませんが専門職として幅広い知識と技術が求められるため、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員などの資格を有している人がほとんどです。介護老人保健施設は常勤の支援相談員を入所者100人に対し1人配置することが求められます。

**私** が那珂市地域包括支援センター(市委託)から、当施設に「施設ケアマネジャー」として配属されたのは2010年2月のことでした。支援相談員として働くようになったのは5年前からです。当施設は2019年4月より加算型施設になりました。今後も支援相談員の一員として、ご利用者、ご家族の支援はもとより、老健の機能と役割である「在宅復帰・在宅生活支援」を推進し、地域の方から信頼され選ばれる施設となれるようその一翼を担えればと思っています。

## 庄子徳昭

Syoji Noriaki / Social worker

信頼され選ばれる施設になれるように



和田由佳  
Wada Yuka / Registered dietitian

## 夢だった仕事に就いてみて

### 病

院の管理栄養士だった母から食の知識や調理などを教わる事が多く、小学生の頃から将来の夢は管理栄養士でした。大学3年のとき実習で訪れた介護老人保健施設で、ご利用者と栄養士との距離が近いこと、行事のケアなど幅広い業務に携われそうなことを知り老健を就職先に選びました。施設利用者の方々はライフスタイルも違えば嗜好や食事量なども違います。栄養管理をする立場としては難しい問題ばかりですが、そのぶん大きなやりがいを感じています。

### 管理栄養士 Registered dietitian

病気や高齢が原因で食事を摂りづらくなっている方に対し、健康に配慮したメニューを考え、病気の治癒や再発防止、合併症の予防、健康維持を目指して栄養指導や栄養管理を行う専門職です。介護老人保健施設では、栄養補給のみならず年間の行事に合わせた献立の作成や寿司のイベントなど楽しい食事環境を整えることも重要な役割です。

## デイケア相談員 Day care

病院や施設から退院・退所された方、あるいは自宅で生活している方を対象にリハビリテーションを提供する業務を担います。在宅生活の維持や活性化を目的に、ご利用者個々の状態に合わせたリハビリ内容を考えていきます。入浴や健康管理もデイケア相談員の仕事です。

「**こ**」の仕事を意外と難しいのが、リハビリを提供したい方たちに「施設へ来ていただくこと」です。ご本人、ご家族、ケアマネジャーとコミュニケーションを取りながら休まず来ていただけるような環境づくりを心がけています。はじめは杖をつけて歩くのも難しかったご利用者が、リハビリの成果で自由に歩行可能となり、ついには「庭や畑の草刈りをしたい」と具体的な目標まで口にされたときの喜びは一生忘れないでしょう。

## 中崎 敦

Nakazaki Atsushi / Day care



施設に休まず来ていただくこと

## Nihon University School of Medicine Report

## 日本大学医学部附属板橋病院泌尿器科のご案内

日本大学医学部泌尿器科学系泌尿器科学分野 大日方大亮、高橋悟

## 新病院建設に向けて

日本大学医学部は2025年に創立100周年を迎えます。2020年11月に第16代医学部長に後藤田卓志教授が就任し新体制を発足いたしました。現在医学部キャンパスと附属板橋病院の建て替えに向け推進プロジェクトが進行しています。また、新たにER体制を導入し救急医療の充実を図り、医療連携センターを通じて地域医療機関との円滑な連携を目指しています。新病院設立ならびに地域医療へ貢献できるように当科としても微力ながら一丸となって努めてまいります。

泌尿器科では尿路(尿の流れる路)と男性生殖器に係る臓器の病気を取り扱います。尿路性器に発生する悪性疾患(癌)に加え、尿路結石、排尿障害や尿失禁などの生活の質に関わる疾患を扱うのが特徴です。

## 最新の集学的治療を提供する

## 前立腺癌

当科では早期前立腺癌に対するロボット支援手術、密封小線源療法および強度変調放射線治療から進行性前立腺癌に対して用いる新規前立腺癌治療薬まで最新の集学的治療法のすべてが施行可能です。

## 腎尿路悪性腫瘍・その他の悪性腫瘍

腎機能温存が期待できるロボット支援腎部分切除術をはじめ、適切な適応基準により腹腔鏡下での腎摘除術ならびに膀胱全摘除術を行っており、薬物治療に関しては免疫チェックポイント阻害薬や今年承認された新規分子標的薬を積極的に導入しています。その他の悪性腫瘍についても最新のエビデンス・ガイドラインに基づいた医療を実践しています。

## 生活の質に関わる疾患

尿が出づらい、頻回にトイレに行くといった下部尿路症状

(LUTS)は高齢者の3人に1人は認められるとされ、生活の質に多大なる影響を与えています。また、膀胱癌や子宮脱といった女性特有の疾患である骨盤臓器脱も加齢と共に発症頻度が高くなります。部長の高橋悟は女性下部尿路症状(female LUTS)診療ガイドライン作成委員長、男性下部尿路症状・前立腺肥大症診療ガイドラインの作成委員、夜間頻尿診療ガイドラインの作成副委員長をとめ、上記にご紹介した悪性疾患のみならず日本のLUTS診療を牽引しています。

たとえば、重度の前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺核出術、骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下仙骨腔固定術や、難治性の排尿障害では今年度から承認されたボツリヌス毒素膀胱壁内注射療法、人工尿道括約筋植え込み術等といった最新の治療技術を積極的に取り入れています。

このように当科の特色として、良性から悪性疾患まで幅広い分野で最新の集学的治療を提供しています。皆様からのご紹介を心よりお待ちしております。



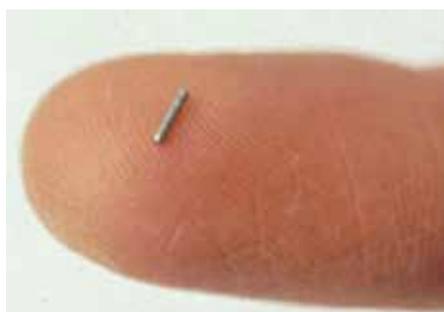


日本大学

青燈会小豆畑病院は日本大学医学部の関連病院です。  
活発な人材交流にもとづく最新の知見と研究成果を日々の診療に役立てています。



当院では手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入しています。また、泌尿器科ではロボット支援前立腺全摘術、ロボット支援腎部分切除術ならびにロボット支援腎盂形成術を施行しています



手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」による前立腺全摘除術に加え、密封小線源療法、強度変調放射線治療 (IMRT) も当院では施行しており、局所前立腺癌に対する最新治療法のすべてが可能です

## 外来診療担当医と専門領域 (担当曜日)

高橋 悟	月、木	泌尿器全般、前立腺癌、下部尿路障害、女性泌尿器
山口 健哉	月、水、木	泌尿器全般、腎癌、膀胱癌、前立腺癌
持田 淳一	火	泌尿器全般、膀胱癌、前立腺癌、女性泌尿器
吉澤 剛	火	泌尿器全般、腎癌、前立腺癌、下部尿路障害
大日方 大亮	月、水、金、土	泌尿器全般、腎癌、前立腺癌
堀 祐太郎	火、水、金	泌尿器全般、下部尿路障害、小児泌尿器
桜井 文紀	水、木、金	泌尿器全般、腎癌、膀胱癌
船越 大吾	火、土	泌尿器全般、前立腺癌

外来診療では泌尿器科全領域に精通している日本泌尿器科学会認定専門医が担当しています。

## Information

## 看護師、看護助手を募集しています。

医療法人社団青燈会では現在看護師、看護助手を募集しています。地域医療に対する熱意をお持ちの方ならきっとやりがいを持って働ける職場です。院内には託児所も完備。子育て中のスタッフが安心して働ける職場環境の整備にも力を入れています。産休・育休からの職場復帰率は100% (2019年度実績)。私たちと一緒に「心のこもった温かい看護」で地域と患者さまの健康回復に貢献してまいります。



**雇用形態**：正社員

**業務内容**：看護全般

(注射、点滴、採血、血圧測定、患者さんのケア、診療介助など)

**資格・経験**：看護師資格または初任者研修修了者

**勤務形態**：2交代制

日勤 8：30～17：30

遅番 10：00～19：00

夜勤 17：00～9：00

夜勤の回数をご希望に応じて調整いたします(月2～6回程度)

**休日・休暇**：年間休日116日(年末年始・夏季休暇を含む)

そのほか有給休暇、特別有給休暇あり

**給与**：当院規定による(経験加算あり)

**待遇**：社会保険完備、賞与(昨年度実績4カ月)、制服貸与、

託児所完備、職員互助会、退職金(規定あり)

**諸手当**：通勤(規定内)、扶養、住居、夜勤、時間外

**勤務地**：茨城県那珂市菅谷605

**アクセス**：JR水郡線「上菅谷」駅より徒歩10分

## 院内託児所「ちびのミイ」

院内で働くスタッフのお子様をお預かりする託児所です。業務に専念していただける職場環境を整える目的で2003年から運営しています。広い園庭や砂場などの設備も整えており、お子様が自然のなかでのびのびと遊び、安心して過ごせる空間を提供しています。主に0～3歳の乳幼児をお預かりしています。

## 同時募集 看護奨学生

看護奨学金制度とは正看護師の養成学校に進学予定または在学中の方を対象とした奨学金貸与制度です。卒業後、当院に勤務していただくことで返済が不要になります(条件あり)。

## 看護奨学金制度の特徴

**金額**：月額5万円または8万円

**支度金**：20万円

入学時の支度金として奨学金とは別に支給されます。

**在学中の勤務**：正看護師の養成学校に在学中は学業優先とし

当院への勤務義務はございません。



注) 令和3年度の募集は終了しています。

お問い合わせ、応募方法 TEL: 029-295-2611 (代表) hospital@seito1980.com

まずはお気軽にご相談ください。当院サイトの「応募フォーム」からもご応募いただけます。

新しき道はここから始まる

# 自主創造



## 学部・短期大学部・通信教育部

□東京都

法学部／文理学部／経済学部／  
商学部／芸術学部／危機管理学部／  
スポーツ科学部／理工学部／医学部／  
歯学部／通信教育部

□福島県

工学部  
□栃木県  
佐野日本大学短期大学

□埼玉県

芸術学部（所沢校舎）  
□千葉県  
理工学部（船橋校舎）／生産工学部／  
松戸歯学部／薬学部／短期大学部（船橋校舎）

□神奈川県

生物資源科学部  
□静岡県  
国際関係学部／  
短期大学部（三島校舎）

## 付属高等学校・中学校・中等教育学校・小学校・幼稚園・認定こども園

□東京都

日本大学櫻丘高等学校  
日本大学鶴ヶ丘高等学校  
日本大学豊山高等学校・中学校  
日本大学豊山女子高等学校・中学校  
日本大学第一高等学校・中学校  
日本大学第二高等学校・中学校  
日本大学第三高等学校・中学校  
日出高等学校・中学校  
日本大学幼稚園  
日本大学認定こども園  
日出幼稚園

□北海道

札幌日本大学高等学校・中学校  
□山形県  
日本大学山形高等学校  
□福島県  
日本大学東北高等学校  
□茨城県  
土浦日本大学高等学校  
岩瀬日本大学高等学校  
土浦日本大学中等教育学校  
土浦日本大学高等学校附属幼稚園

□栃木県

佐野日本大学高等学校  
佐野日本大学中等教育学校  
□千葉県  
日本大学習志野高等学校  
千葉日本大学第一高等学校・中学校  
千葉日本大学第一小学校  
□神奈川県  
日本大学高等学校・中学校  
日本大学藤沢高等学校・中学校  
日本大学藤沢小学校

□山梨県

日本大学明誠高等学校  
□長野県  
長野日本大学高等学校・中学校  
長野日本大学小学校  
□岐阜県  
大垣日本大学高等学校  
□静岡県  
日本大学三島高等学校・中学校  
□長崎県  
長崎日本大学高等学校・中学校  
□宮崎県  
宮崎日本大学高等学校・中学校



# 日本大学

## ケアマネジャーを募集しています

医療法人社団青燈会が運営する「のぞみ居宅介護支援事業所」では現在ケアマネジャー（介護支援専門員）を募集しています。在宅医療グループの活動が活発化するなど当法人におけるケアマネジャーの役割は年々重みを増しています。主に40～60歳代の職員が介護支援の業務に取り組んでいる組織です。私たちと一緒に地域医療の発展に貢献してまいりましょう。



各部署の専門スタッフとの連携体制を整えています

<b>雇用形態</b>	正社員	<b>待遇</b>	社会保険完備、制服貸与、託児所完備、職員互助会、退職金（規定あり）
<b>業務内容</b>	ケアプランの作成／ご利用者、ご家族および関係機関との連絡調整／書類申請代行、相談業務／担当者会議の開催など ※ 那珂市近郊の訪問業務あり（5～6件／日、社用車あり）	<b>諸手当</b>	通勤（規定内）、扶養、時間外、住宅、資格、その他の調整手当あり
<b>資格・経験</b>	介護支援専門員、普通自動車運転免許	<b>勤務地</b>	茨城県那珂市菅谷 605
<b>勤務時間</b>	8:30 - 17:30	<b>お問い合わせ</b>	医療法人社団青燈会小豆畑病院 経営企画室 担当：飯塚和幸 TEL: 029-295-2611 hospital@seito1980.com
<b>休日・休暇</b>	年間休日数116日（年末年始・夏季休暇含む） そのほか有給休暇、特別有給休暇あり		
<b>給与</b>	当事業所規定による（支度金あり） 賞与（昨年度実績4カ月／年）		

### 表紙の写真

#### 阿字ヶ浦海岸

撮影・文=小豆畑丈夫

2020年11月末の茨城県阿字ヶ浦海岸です。初冬の海は、寂しく、荒れていて、人は誰もいませんでした。たまたま、少年が波打ち際まで走って行って一人で海を見ていたので、写真を撮らせていただきました。この風景が、いまの僕の心象風景にぴったりな気がしました。



# SEiTO vol.3

発行 医療法人社団青燈会小豆畑病院

〒311-0105 茨城県那珂市菅谷 605

www.azuhata-hosp.com/